

1 国語

科目名	古典A	単位数	2 単位	学年	第3 学年	科 コース	普通科 進学コース
使用教科書	標準古典A物語選 (第一学習社)			副教材		教師作成プリント	

学習の到達目標

1. 「古典」主に古文を読み・触れることによって、自国の文化や伝統に対する関心・理解を深める。
2. 古典の言語文化を正しく継承して現代に活かし、生涯にわたって古典に親しみ、人間性を豊かにする態度を養う。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	説話『十訓抄』 文字一つの返し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の展開を理解し、確実に読み解く読解力を身に付けさせる。 ・ 登場人物の立場と状況を読み取り、どのような思いで何をしたか理解させる。
	5	説話『古今著聞集』 小式部内侍が大江山の歌の事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の構成や展開を理解し、大意把握から細部の検討に至る読解の方法を身に付けさせる。 ・ 和歌を中心とした説話で、中古の人々にとって和歌がいかに大切かを考えさせる。
	6	物語『伊勢物語』 初冠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌物語における和歌の役割と位置づけについて考えさせる。 ・ 詠歌に心を動かされるなど、和歌の持つ力について考えさせるとともに、段末注記の意味について理解させる。
	7	随筆『徒然草』 相模守時頼の母は	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物評価、及び取り上げた意図を通して作者の人の在り方についての考えを理解させる。
二 学 期	9	物語『竹取物語』 かぐや姫の昇天	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の心情の推移・和歌に込めた思い・その後の行動などを留意させ、地名起源説話の面白さを理解させる。
	10	随筆『枕草子』 中納言参りたまひて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作者の才知と機知を味わう。併せて、平安時代の宮廷生活や女房の活躍ぶりを理解させる。
	11	日記『更級日記』 門出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日記に表れる浪漫的性格や物語性を十分に読み考えさせる。 ・ 作者のものの見方・感じ方・考え方を学び、現代と比較して学習者自信の生き方・ものの見方・考え方を深めさせる。
	12	故事・寓話 画竜点睛 推敲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 故事成語の成り立ちの背景を理解させる。
三 学 期	1	和歌『古今和歌集』 仮名序 和歌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮名序に書かれた和歌の本質・効用を理解させる。 ・ 和歌の技巧・文法に注意しながら、歌の意味や作者の気持ちを理解させる。
	2		
	3		

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する